

高齢運転者の交通安全対策の推進のため、平成 29 年 3 月 12 日から臨時認知機能検査制度や臨時高齢者講習制度の新設、その他制度の見直し等が行われます。警察庁が行ったアンケートで、75 歳以上のドライバーに「運転に関して、若い頃と比べて変わったと感じるか」を聞いたところ、半数以上が「経験を積み、上手に運転できるようになった」と回答しており、運転に自信がある様子が見えます。ですが、身体の衰えを素直に受け入れ、それを補う慎重な運転を心がける必要があります。高齢ドライバーに安全運転を続けてもらうためにはどうしたらよいか、一緒に考えましょう。



南越前町交通指導員

【75 歳以上の運転者に対する認知機能チェックが強化】

- 1 認知機能検査で「認知症のおそれあり」と判定 → 医師の診断を受ける
- 2 「認知機能が低下すると行われやすい違反行為」をした場合 → 臨時の認知機能検査
臨時の認知機能検査の結果によって臨時高齢者講習や医師の診断を受けることになります。

臨時認知機能検査の対象となる違反行為の例(抜粋)

- 信号無視
- 通行が禁止されている道路や歩道を通行したり、逆走をした場合
- 歩行者が横断歩道を通行中、一時停止することなく横断歩道を通行した場合
- 一時停止をせずに進入した場合
- 右折(左折)をするときに合図を出さなかった場合

★高齢ドライバーに「危険だから運転を控えてほしい」と言っても、買い物や通院など日常生活に支障をきたしたり、運転の楽しみを奪われることに抵抗があったりして、運転を控えてもらうことは難しいと考えられます。高齢ドライバーに安全運転を続けてもらうためにも、日頃から慎重な運転と、確認を行う習慣を心がけて、車にはシルバーマークをつけ、体調が優れないときは運転を控えるようしてください。

やってみよう! みんなで気づいて、チェックリスト✓

- 車に、こすったりぶついたりした跡が複数ある
- 車線からはみ出して走行することがある
- 停止線でうまく止められていない
- 車庫入れをうまくできない
- 約束の時間や場所を間違える
- 外出時、持ち物を何度も確かめる

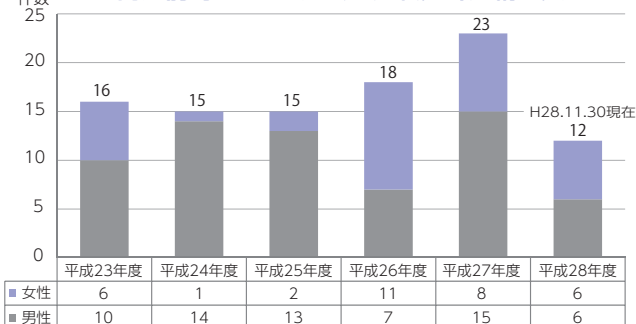
◆南越前町の取組み◆ 運転免許自主返納支援事業

対象者 自主的に有効期間内の全ての運転免許を返納する満 65 歳以上の町民

支援内容 運転免許自主返納者に対し、2万円相当分の町内バス回数券、タクシー利用券、または町内温泉施設利用券を交付

南越前町における
運転免許証保有者率 **68.8%**

南越前町における過去の運転免許返納者数



運転免許証を自主返納した S さん(69 歳)のお話

『返納のきっかけは、自分が他人に迷惑をかけると思ったから。返納後は旦那様が優しくなり、病院やいろいろな所に連れて行ってくださるようになりました。旦那様と一緒にドライブしているとき、高齢運転者マークの車を見ると急に曲がったりするので旦那様は注意して運転しています。』と話されていました。